

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和5年度 白川河川水位予測システム高度化検討業務
業 務 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川水位予測プログラムの河道断面データの追加・更新・・・・・・・・一式</li> <li>・流出モデルにRRIモデルを用いた河川水位予測モデルへの改良・・・・一式</li> <li>・河川水位予測シミュレーション・・・・・・・・一式</li> <li>・河川水位予測プログラムの改良・・・・・・・・一式</li> <li>・河川水位予測プログラムの動作確認・・・・・・・・一式</li> <li>・河川水位予測プログラムの精度向上検討・・・・・・・・一式</li> </ul>
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長 三保木 悦幸 熊本市東区西原1丁目12番1号
契 約 年 月 日	令和 5年 5月10日
契 約 業 者 名	(株)建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契 約 金 額	33,979,000円(税込み)
予 定 価 格	33,979,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	白川
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 5年 5月11日
履 行 期 間 (至)	令和 6年 3月31日
備 考	

## 契約理由書

1. 業務件名 令和5年度 白川河川水位予測システム高度化検討業務
2. 履行場所 白川水系
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名 2-4-12 CTI 福岡ビル  
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社  
電 話：092-714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び  
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は、河川水位予測プログラムの河道断面データの追加・更新、流出モデルに RRI モデルを用いた河川水位予測の試算、河川水位予測シミュレーション及びシステム改良を行うとともに、現行の河川水位予測プログラムの精度向上を行うものである。

- 2) 業務の内容

- ・河川水位予測プログラムの河道断面データの追加・更新・・・・・・・・一式
- ・流出モデルに RRI モデルを用いた河川水位予測モデルへの改良・・・・・・・・一式
- ・河川水位予測シミュレーション・・・・・・・・一式
- ・河川水位予測プログラムの改良・・・・・・・・一式
- ・河川水位予測プログラムの動作確認・・・・・・・・一式
- ・河川水位予測プログラムの精度向上検討・・・・・・・・一式

- 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を23者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、その1者は参加資格を有していた。

参加資格を有する1者を技術提案書の提出者として選定し、その1者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断され、かつ評価テーマ「白川水系の洪水特性を踏まえた洪水予測システムの改良を行う上での留意点について」に対する技術提案について、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

熊本河川国道事務所 流域治水課長